

第40号 (8月号) 2016年 8月1日	七里ヶ丘こども若者支援研究所 それが社会参加だ！	住所:鎌倉市七里ヶ浜東 2-31-12 連絡先:090-7212-4055 Email:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp 編集長:新舛秀浩 発行責任者:滝田衛
--------------------------------	------------------------------------	---

ひきこもり 同じ人として 島根三枝子さん (会員)

私がひきこもりに出会ったのは20年近く前のことです。私には3人の子供がいます。長短はありますが3人ともひきこもり経験者です。登校拒否をきっかけに部屋にこもっていました。思春期でした。自分と向き合う時間が欲しかったのでしょう。幸いにきっかけをつかんでそれぞれ外へ出て行きました。

もう一つの出会いは仕事を通してです。サポート校といわれる高校で相談員をしていたときです。両親の希望で家庭訪問をしていました。何度となくうかがっていたのですが、部屋から一步も出ず声も聞かせませんでした。それでも私は呼び掛けつづけました。卒業のときもちろん会うことはできませんでしたが、後に散髪に行きたくて門のところまで出たと聞きました。ずいぶん心を動かし自分と闘ったことでしょう。そうした人たちは自己否定が強く罪悪感さえ持っています。社会の一番小さな単位である、家族でさえ良くは思ってくれないでしょう。我が子であっても否定的に思ってしまう。

ほとんど一色に染まっている社会に違った色があれば弾かれます。良い悪いではなく自分が自分らしくあることを貫くのは難しい時です。それでも生きていい、したいことをしていいと、何かを見つけた時動けるようになるのかも知れません。みつけるのには静かな時が必要なのでしょう。ひきこもりを分かってあげるのは難しいです。でも今という時を共にすごしているものとして、同じ人として、あたりまえに付き合いたいと思います。



写真は7/15, 16に横須賀の上町商店街で行われた灯ろうまつの写真です。撮影者川辺悟史さん

コラム風

^{みき}内村未来さんのお話を聞いた。僕は未来さんを次々世代の仲間の一
 人、勝手に思っている。宣伝の永野さん、名司会の小幡さん、重鎮の新舛・涌井・龍崎さ
 さん、写真の川辺^{哲史}さん、そして飯田さん。今回は「応援団会議もマンネリ気味？」と企画した
 が、二つ返事でOK牧場。自伝的に中学不登校体験から現在の会社員生活までを話題提
 供くださった。大人不信と「なんとなく…」と不登校を語り(次ページ参照)、「いまも心をゆさぶら
 れ、ひきもどされる」、ちょっぴり涙をみせた。不登校やひきこもりは「自由ゆえの不安感」「承認
 欲求と自己受容」という。モドカしい現代の生き辛さと再認識させてくれた。結果、真面目す
 ぎることで、自信なく、自分らしい個性をひき受ける苦戦におちいることも…。「辞めたいな〜」
 「でも明日から?」、リアルな日常論も語り合った。未来さんは高校は皆勤賞、一浪して地元
 の公立大学、そして人材派遣会社5年(海外勤務含む)からIT企業
 へ転職2年目。最近、仕事でMVP取得、横須賀市バレー構想イ
 ベント司会でボランティアも。さて「なんとなく…」という、説明できない素
 直で純な迷いだ。改めて「なんとなく」を大切にしたいと共感した。迷
 っても悩んでも立ち止まってもいい「なんとなく」を実感。



(←8・6を迎える広島原爆ドーム) 自分を信頼して go! (滝田衛)

7月24日こども若者応援団 東京から内村未来さんをゲストに招いて

東京から会議に参加した会員内村未来さんのお話しを、皆さん12人で聞きました。中学生の不登校経験を経て中3で長野県に山村留学。そこで素晴らしい教師に出会い、教師になる夢を描き地元横須賀に戻り高校生になった。大学生時代にアンガージュマンで学習支援講師となるが、担当した子が来なくなり悩む。教師になる夢は先に送り、会社員として働き現在に至る。会社では皆と同じに「普通」であろうとしたが、「浮いてる」と言われ悩む最近の出来事だそうだ。日曜の夜は時間に余裕があることから「入社したくない」との思いが頭をよぎることもあるそう。そんな話を聞かせていただき、参加者との交流が始まりました。



同じ会社員の龍崎さんも同様の悩みを吐露。島根さんは「良い学校から良い会社へという洗脳から解放されて」と。涌井さんはひきこもりの外出支援団体「マジェスティック」(HP参照)の立ち上げに奔走。川辺悟史さんは大学のテスト勉強に励み、小幡さんは「浦賀フランス奇跡の写真展」の情報多数紹介。東浦賀宮政商店でフランス写真展7月22～29日ぜひお越しを！川辺順子さんは8月28日の講演会ではありのままに話す決意。高島さん、たき塾は「夏休みは誰でも参加できる期間に」と試行錯誤。飯田さんは再びの就労へ喜び、滝田さんは1周忌で広島へ、お土産をゴチ！新舩は父親が対人関係を構築できなくても会社員でやっていける、納得。8月28日「ひきこもり」をテーマに講演会を開催します。龍崎さんは8月11日横須賀アリーナでロボコンを写真集にと支援撮影。応援してくださいね。(新舩秀浩)



それぞれの風

○中学生が6月からわが家にやってきている。そこに涌井さんが参戦して、それぞれ勝手に過ごした。素晴らしい光景、われながら納得。アンガージュマンやスペースゆうゆうのフリースペースの経験はあるが、わが家ではどうなることか？ 僕がホームだから…。でも気を使わない、ありのままに、もちろんそれぞれに気遣いはしているのです。互いに自然体を感じるのはなぜだろうか？ スケジュールなし、ねばならない活動もなし。この日は昼食を用意できなかったが、こんなものかな。また、たきた塾でお会いしましょう。

↑カープが熱い ○大学院へ進学した若者がいる。中学不登校、さらに高校不登校・中退・転学、浪人そして大学進学。4年間を有意義に終え、学んだことを生かして修士課程へと進んだ。しかし教授との不具合に悩み一休み。近所をさまよったり、田舎の原風景を確認したり、そして実家に戻ったりと、悩み多き日々を送っている。父親とも酌み交わし、二人で遠出もした。「たくさんの困難を超えてきた彼、未来は今そこにある！！」と僕はまた勝手に思う、逞しい彼だから。

○総会 勝手に進めちゃいます。8月28日(日)講演会后。会員高橋孝子さんが「皆が一堂に集まる総会みたいなものはないのですか？」と。ないのですが、やります。次第や決議はありません。若者たちも新たな活動を始めますので、会員の意見交換をしたいと思います。(滝田衛)

【ご参加下さい】
ひきこもり～それ
って自己責任
ですか～8月28
日(日)14時～
16時に行いま
す。ぜひ参加お
待ちしています！

8月研究所開設日程 相談時間10時～16時 土日訪問はご相談

4日(木)	横浜ひなたやま支援学校	22日(月)	鎌倉市新採用研修
8日(月)	休業	25日(木)	たきた塾・相談
11日(木)	休業	28日(日)	ひきこもり講演会
15日(月)	休業	同 4時	応援団総会
18日(木)	たきた塾・相談	同 4時	(8月応援団会)